

会 議 録

会議の名称	令和元年度 第1回 小川町国民健康保険運営協議会
開催日時	令和元年9月18日(水) 午前 1時30分～ 午後 2時13分
開催場所	小川町役場第二委員会室
出席者	瀬川会長 荒井副会長 原口委員 関口豊委員 野崎委員 高橋委員 岡勢委員 坂田委員 町長 税務課長 健康福祉課長 町民課長 保険グループ主幹 国保担当主席主査
会議の内容	(1) 平成30年度小川町国民健康保険特別会計(事業勘定)決算について (2) その他 ・補正予算の概要について ・保険事業等について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・議案第1号資料(1)平成30年度小川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算書(運営協議会終了後回収) ・議案第1号資料(2)平成30年度小川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算資料 ・決算概要 ・補正予算概要 ・平成30年度特定健康診査受診率の状況(令和元年8月27日現在) ・特定健康診査受診率の推移(平成24～29年度) ・特定健診チラシ ・後発医薬品数量シェアの推移 ・ジェネリック医薬品に関するお知らせ ・平成30年度埼玉県市町村別国保被保険者1人当たり医療費マップ ・埼玉県国民健康保険における被保険者数及び医療費の推移(平成26～30年度) ・埼玉県の平成30年度5大疾病の医療費の状況 ・各保険者の状況 ・国民健康保険税のあらまし
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	欠席者：関口茂子委員
審議内容	(発言者、発言内容、審議経過、結論等)
配付資料の確認 1 開会 委員の変更と副会長の承認 委員及び職員の紹介 定足数の確認 司会より、出席者8名、1人欠席で小川町国民健康保険に関する規則第4条第3項に基づき、会議は成立したとの報告。	
2 あいさつ 松本町長 瀬川会長 町長退席	

3 会議の公開・非公開の決定

当協議会の公開・非公開については「小川町審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条により会議は原則として公開。ただし、一定の要件に該当する場合は、当該会議の全部又は一部を公開しないことができる。本日の議事については、個人を特定する情報など非公開とすべき内容はないが、平成30年度国民健康保険特別会計（事業勘定）決算については、町議員への議会議案配布後の公開としているため「非公開」とする。傍聴について本日の傍聴希望者は0人の報告。

4 議事 規則第4条第1項に基づき、会長が議長となる。

議長 会議録署名委員の指名
被保険者代表の関口豊委員と保険医代表野崎委員が指名される。

(1) 平成30年度小川町国民健康保険特別会計(事業勘定)決算について

議長 事務局説明を求める。
町民課長 配付資料に基づき説明を実施。
議長 質問はありますか。
特定検診の受診率が40%超えましたが頑張ったと思います。
各委員 質問・意見なし。
議長 1号議案承認。

(2) その他について

議長 事務局説明を求める。
町民課主幹 「補正予算の概要について」配付資料に基づき説明を実施。
議長 質問はありますか。
各委員 質問・意見なし
主席主査 「保険事業等について」配付資料に基づき説明を実施。
議長 質問はありますか。
委員1 このデータから保健事業を頑張っていることはわかるが、以前と比べて県との共同化によるメリットデメリットはあるか。
事務局 メリットとして、かかった医療費については県が支払うので、お金の面はメリットがあります。
委員1 今までは赤字になった場合は、一般会計から繰り入れていたが、共同化になるとなくなるのか。
事務局 現在小川町は赤字ではないが、一般会計から特別会計へ法定外の繰り入れをしている赤字の団体もあります。
委員1 今後赤字になった場合は、町の一般会計から繰り入れる事はあるのか。
事務局 平成30年以降、広域化に伴って今までの保険給付のための基金から、国保運営のための財政調整基金に変わったため、基金を活用する事もできますし、災害等により納付金が不足した場合は県の基金から借りることもできます。
委員1 今後は一般会計から繰り入れることはないのか
事務局 繰り出し基準がありますので、法定内の繰り入れはあります。
委員2 1000円で特定健診受けられるが、病院で検査を3ヶ月に1度している。眼底もしている。それでも特定健診を受けられるのか。
事務局 病院にかかっている方も受けられます。病院の検査の1回を町の特定健診にしてもらうことができます。
委員2 してもいいのですか。知らない人や面倒で病院の検査にしている人。特定健診を受けていたが、病院に行き始めて行かなくなった。そういう人もい

委員 3 るのではないか。
 そういう人も受けてもらえるように医師会からも進めています。そうすれば受診率も上がる。

委員 4 次回の検査の予約の時に言ってもらえると良い。

委員 5 町民の方は特定健診と人間ドックは併用できないとか。町がどう負担しているか。受診方法や意義を知らない事も多いと思う。どのような形で受診できるか知る機会が少ない。国保以外も必要なことなので町民の意識を高めるために積極的に働きかける必要があると思う。
 国保の方に人間ドックはどのように周知していますか。

事務局 募集については広報、HP で周知しています。申し込みは郵便です。

委員 5 HP を見る機会が増えていると思うが、アクセス数でどのくらいの方が見ているとかわかる。少子高齢化が急激に進んでいるエリアだが町民が意識できているのか。働く世代が減り高齢者の増加が急激に進んでいる中、町民の意識を高め、健康寿命を高めていかなければいけないと思う。町民全体の意識をかえていただくといいと思う。国保だけでなく全体で扱ってほしい。

議長 先ほどもあった介護保険と長寿と国保併せて今後やっていくという事なので、今後いろんな方策が出てくると思うので期待したいと思う。

事務局 国保から後期へ移行しても切れ目のない支援が町として、皆さんの健康のためにできればと思います。

議長 質問はありますか。

各委員 他に質問・意見なし

議長 2号議案承認。

5 その他（報告事項）

- ・次回は2月ごろ予定
- ・報償費について
- ・会議出席報告

6 閉会

上記会議の顛末を記載しその事実であることを証明するために署名する。

小川町国民健康保険運営協議会会議録署名委員 3番 関口 豊

小川町国民健康保険運営協議会会議録署名委員 4番 野崎 信行

会 長 瀬 川 豊 書 記 轟 雪江